



おすぎ

ジブリパークは
本当に歩くから
体力がいります

こんにちは、おすぎです。いかがお過ごしでしょうか？
先日ジブリパークに行って、パン屋にびっくりした話です。



いつも「KING OF PRISM」の話当たり前のようにしているので、別の話をしようと思いました。(ちなみにKING OF PRISMは2月に舞台がありました)はじめてジブリパークに行きました。感想としてはパンがめちゃくちゃ美味しかった！とにかくパンがうまい！魔女の谷のグーチョコパン屋さんです。おソノさん家のパン屋ですね。1時間並びました。とくに調べてもなかったの、入って価格にビビる一同。でもせっかくだから買いたいし、全部美味しそう。普通に美味しそうなものを選んで行ったら3800円くらいになってました。でも多分これは普通なんでしょうね。uedaのおがは7000超えてました。おがのレジ見て、こっちがびっくりしました。気合いの価格。でも食べてみてびっくりだったんですけど、めちゃくちゃ美味しい。これは仕方ないと思いました。何度も言いますが、美味しいなら仕方ないですよ。次行った時もおそらく並んで買ってしまう。他も楽しかったです。ジブリ大好きだし。ハウルの城も素晴らしかったし。大倉庫も楽しかった。でも私の中での印象はジブリパークはパンです。この美味しいパンをジブリパークに買いに行くんです。私にとってはもうそういうところ。パン屋。それくらい美味しかったんです。ぜひジブリパークに行く際は、魔女の谷のパン屋をコースに入れてください。早めに行った方がいいです。



すごい反射ですがかわいいです

今回の学び ジブリパークはパンが美味しい

アジアを代表するデュオ

CHAGE vol.10
and ASKA



おが

先日、ジブリパークへ行ってきました。

大倉庫や「さつきとメイの家」には何度か足を運んでいましたが、今回のお目当ては「魔女の谷」。ひと言で言うと、本当に楽しかったです。「ハウルの城」も「オキノ邸」も細かく再現されていてとても素晴らしかったのですが、特に印象に残ったのがパンの値段の高さ!!! ←すごく美味しかったけど7000円も買ってしまうなんて…もうその値段の高さに気づいた時には引き返せませんでした…皆さんグーチョコパンさんでのパンの買い過ぎには気をつけてください…とはいえ、今回お話ししたいのはパンの値段の高さではなく、大倉庫内の企画展示「ジブリがいっぱい展」で、歴代ポスターや映像・音楽パッケージが展示されているのですが、そこで見つけた『On Your Mark』のポスターのこと!

『On Your Mark』は、CHAGE and ASKAの楽曲をもとに制作された短編アニメーション作品。もともとはこの楽曲のための映像作品として企画され、監督を務めたのが宮崎駿、制作はスタジオジブリという、当時としては非常に豪華なコラボレーションでした。“君を連れていく”“何度でも始めよう”—— そんな前向きなメッセージを持つこの曲から着想を得て、宮崎監督は「翼を持つ少女を救い出そうとする警官」の物語を描きました。作品にはセリフがなく、楽曲と映像が完全にシンクロ。曲の盛り上がりに合わせて物語も展開し、歌詞に込められた“やり直す力”や“未来へ進む意志”が、映像の中でドラマとして鮮やかに表現されています。

つまり『On Your Mark』は、楽曲と映像表現が出会うことで生まれた特別な作品ということなんです!!今はなかなか映像を目にする機会が少ないのですが、気になった方はぜひ「チェゲアス ジブリ 映像」で検索して見てみてください♡

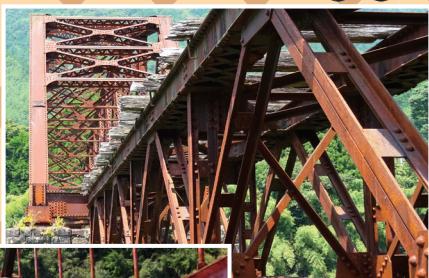


奇妙奇天烈摩訶不思議 🤪

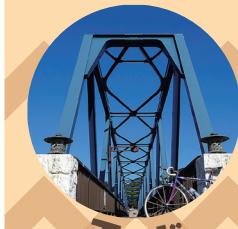


休日のサイクリング
もうひとつの楽しみは写真撮影です。

何だこれ？
って思わせる、
奇想天外な
オブジェを
探しながら…



中でも鉄橋がカッコイイ!
100年以上も昔に架けられ
たものや精密な幾何学模様!
ノスタルジック、パワフル、&ビューティフォー😊



平田



よもやまばなし

弥生：梅の間

3月が来て、今年も順調に日が経つのが早いな…と思ういっぽう、やっと春がやってきたか、と浮かれます。電車移動の私は早くアウターをしまいたくてたまりませんが、冬は電車ってあついんですよね。脱ぐとかさばるし、着たままだと暑いし…早く薄着で過ごしたい!

3月といえば桃の節句

何度も3月の話をしているの、ぼちぼち木々も尽き始めてきたぞー ^^;ってなわけで、3月の王道ひな祭りの話。桃の節句というのは「五節句」と呼ばれる節目のことで、昔は奇数のゾロ目の日(例えば3月3日や5月5日など)は不吉とされ、厄払いをするための儀式として節句を行っていたことが理由なんだから、始まりは紙人形に女の子の厄災を身代わりしに請け負ってもらってそれを川に流す「流し雛」だったんだけど、江戸時代に「ひな遊び」(平安時代のころ、貴族の子どもたちの間で人形を使ったおままごと)と結びつき、現代のように飾るような形式に変化したらしい。豪華に飾って厄払いってゆー江戸庶民らしい発想だよ。おひな様の「ひな」という言葉には、小さいものやかわいらしいものといった意味もあって、手作りの小さな人形や調度品を使っておままとなんてかわいらしい遊びだったからそんな名前になったんだろうね。ところで、最上段のお人形の女雛のことをおひな様って呼ぶと思ってる人が多いと思うんだけど、これちょっと違うらしいんだ。「うれいひな祭り」って歌の中に「お内裏様とお雛様、二人並んですまし願」ってフレーズが日本人に定着しちゃったみたいで、本当は飾り全体を指す名称なんだからさらに言っちゃえば、お内裏様も間違いで、最上段は親王飾りって、天皇皇后両陛下を指し、お二人の結婚式を模した飾り。内裏というのはそもそも天皇や皇室が執務などを行う場所の称号なので、堅苦しい言い方を抜きにすると、男雛、女雛と呼ぶのが一番いいのかなーとゆーことらしいよ。それいえば昔から、3月3日過ぎたらすぐに片付けないと娘の婚期が遅れるーとか言われてたけど、早く片付けるには理由があって、人形や飾りは、湿気に弱いので時期が過ぎたら早くしまって大事に保管しなさいってこと。今ならちよいとコンプラ違反みだけど、ちよとひねった粋な言い回しで後世に伝えたかったんだろうね。でも、それを知ったうえで、もう気にするわー(^_^)の、やっぱり早く片付けましょうね。

